

教育の今日的課題（キーワード）

主体的・対話的で深い学び、個別最適化と協働的な学び、コミュニケーション能力（言語活動）、主体性（キャリア教育）、健康・体力（食育）、豊かな心（生命尊重、規範意識、郷土愛）、危険回避（防災教育）、特別支援教育、ノーマライゼーション、ギガスクール構想、ウェルビーイング、思いやり、楽しく安全な学習環境、チーム力

教育目標

- しなやかで、たくましい
- 心とからだを育む下鎌田小—
- 思いやりのある子
- よく考える子
- 明るく健康な子

令和6年度 教育指導課・教育研究所重点事業 共生社会の実現に向けた教育の推進

- ◇子どもの権利条例の理解
- ◇学びのユニバーサルデザインの推進
- ◇日本語指導の充実 ◇特別支援教育の充実
- ◇校則・学用品の見直し
- 【学力の向上】【体力の向上】【不登校・いじめ対応の充実】
- ⇒地域に開かれた学校（園）の実現

【目指す学校】

- ◇「豊かな感性」「確かな学力」「しなやかでたくましい心と体」を育み、子供が夢や希望の実現に向かって生き生きと活動する学校
- ◇教師が自己の持ち味を発揮し、教育目標の実現や当面する課題解決に丸となって取り組む学校
- ◇保護者や地域社会との連携・協働を大切に、地域のコミュニティの中心として、機能する

【目指す子供像】

- 自分のめあてに向かって最後までやり通す子供
- 友達との競い合いを通して、自他を尊重できる子供
- 探求心が旺盛で、何事にもチャレンジし、失敗してもへこたれない子供
- 美しいものに感動する豊かな感性をもつ子供

【目指す教師像】

- 子供のよさを認め・励ましたり、真剣に叱ったりするなどして、いつまでも子供に対する情熱をもち続ける教師
- 自己を見つめ、常に向上心をもっている教師
- 責任感があり、組織の一員として、協働する教師
- 謙虚な姿勢で、様々な立場の人の思いや願いを受け止める教師

基本方針1 学校の教育活動全体を通じて、心の教育を充実する

- 1 人や自然と積極的にかかわり共に生きる心を育む**
 - ・体験を重視した教育活動を重視（近隣の自然環境の活用、外部人材の積極的な活用）
 - ・関係機関との連携・効果的なSC及びSSWの活用による校内の特別支援教育体制の充実
- 2 美しいものに感動する豊かな感性を培う**
 - ・文化・芸術等、本物に触れる機会の設定
 - ・校長による詩の暗唱（学期1回）
- 3 自他を尊重する意識と態度を伸長する**
 - ・特別活動（クラブ・委員会活動等）を通して、自分に自信をもつとともに友達への思いやりを育てる。
 - ・SC、SSW<特別支援教室巡回指導員との連携を密にする。
 - ・さんをつけて友達を呼ぶ等言語環境を整える。
- 4 キャリア教育を推進する**
 - ・夢や希望の醸成 ・レゾリエンス（自制心・耐性）の育成
 - ・勤労観・職業観に繋がる自己有用感の自覚

基本方針2 知識・技能を習得し、活用する能力を育成する授業を展開する

- 1 基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させる**
 - ・始業前に、読書や計算等に継続して取り組みや放課後の補習、家庭学習の習慣化等により、基礎学力を定着させる。
- 2 課題（問題）解決的な学習を取り入れ、自己学習力を身に付けさせる**
 - ・「自己の学習課題を見出す」「課題の解決方法を工夫し見直しをもって取り組む」「学習を振り返らせ成果を自覚するとともに次への課題をもたせる」学び方を実践する。
- 3 学習活動に言語活動を有効に取り入れ、思考力・判断力・表現力を育てる**
 - ・自分の考えや思いを伝える力、友達の考えや思いを受け、自分に生かそうとする能力や態度を育成する。
- 3 様々な学習ニーズに対応した学習活動を展開し、個別最適な学びと協働的な学びを展開する**
 - ・高学年での教科担任制、交換授業、合同・TT授業、栄養士・養護教諭とのTT授業、外部人材の活用等、様々な学習形態を工夫し、様々なニーズに応じた学習に取り組む。
 - ・ICT機器・ソフトを活用した授業を展開する。

基本方針3 基本的な生活習慣を確立し、

健康の増進・体力の向上を図る

- 1 豊かなスポーツライフを営む資質や能力を育む**
 - ・体育科の授業改善
 - ・なわとび週間、持久走大会等の取組
 - ・健康教育、食育の充実
 - ・体力調査結果の分析、活用
- 2 教師の共通認識に基づき生活指導を徹底する**
 - ・基本的な生活習慣の確立（み・そ・あ・じ）
 - みじたく、そうじ・そと遊び、あいさつ、じかん
- 3 自己指導力を育む**
 - ・児童自身の深い自己理解に基づき自発的・自律的に実行する力を育てる。
- 4 保護者と連携し、規則正しい生活習慣を身に付ける**
 - ・早寝・早起き・朝ごはん ・SNS 東京ルール
 - ・元気いっぱい下鎌田っ子 ・タブレット活用のルール

基本方針4 開かれた学校を推進する

1 積極的に公開・情報発信する

- ・土曜日の活用を図るなど学校行事や授業参観を工夫・充実し、信頼感を高める。
 - ・学校日より、ホームページを活用し積極的な情報発信に努める。
- 2 近隣の教育環境を活用する**
 - ・幼・保、中学校等近隣の教育施設との連携に積極的に取り組む。（小・中連携の日）
 - 3 外部人材の活用を図る**
 - ・専門家・保護者・地域・学生ボランティア等の人材を積極的に活用する。
 - 4 地域の教育力を積極的に活用する**
 - ・地域行事への参画を推進する。
 - ・学校行事等へ積極的に地域を招聘する。（田植え・稲刈り体験など）

基本方針5 危機意識を高くもち、安全・安心な学校・信頼される学校を実現する

1 安全指導（交通安全、SNS等による被害防止）の充実を図る。

- 1 安全指導（交通安全、SNS等による被害防止）の充実を図る。
- 2 学校施設の安全点検に努めるとともに、避難訓練等を充実する等、防災教育を推進する。
- 3 管理職や主幹・主任への報告・連絡・相談・記録を実践し組織的に危機の未然防止・対応・再発防止を図る。
- 4 教育公務員としての自覚をもち、交通事故、体罰、個人情報流出、セクハラ等服務事故防止に努める。
- 5 チーム下鎌田小として、一人一人の所属意識を高め、組織力の向上を図る。
- 6 教職員の健康維持・増進を図る。（スポーツ研修会、校務分掌の簡素化、会議の精選、ノー残業デー毎週水曜日）